

◇ 議会の評価 ◇

【令和2年度（1年間）の活動結果】

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な37項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月20日決定）が評価し、諮問会議で内容を検討して町民に公表するものです。

昨年と比べ悪化した項目等はありませんが、引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな町づくりを目指して不断の努力を続けてまいります。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達していない」 ▲＝「取組が必要」

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R2評価	摘要
		H29	H30	R元		
1. 議会の 活性度	①一般質問	△	○	△	▲	R2年度に一般質問を行った議員の延べ人数・項目は前年度と同数であり、1定例会平均質問者数3.8人(37.5%)（全国6.3人(52.9%)、全道4.7人(38.1%)、渡島管内4.7人(38.1%)）となっている。より積極的な一般質問への取組が必要である。
	②一般質問答弁事項等 追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。 (追跡調査件数 H30=2件、R元=0件、R2=1件)
	③質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での審議も活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。 (平均質疑者・回数：定例3.5人 8.2回、定例外1.6人 3.6回、委員会2.9人 13.6回) (平均意見交換者・回数：定例3.0人 9.0回、定例外1.0人 1.7回、委員会2.9人 11.3回)
	④討議・討論 (本会議)	△	△	△	▲	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き「議員間討議要綱」に基づき、論点・争点を明らかにした討議・討論への取組が必要である。(R元=0件、R2=0件)
	⑤討議(委員会)	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。 (R2開催日数：常任委員会=19日、特別委員会=6日)
	⑥議員提案	○	○	○	○	一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見を常任委員会で検討しているが、所管調査として取組む事案はなかった。所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。条例提案による政策反映に至る案件はなかった。
	⑦文書質問	△	△	△	▲	質問が特定の議員に偏っている。政策提案等に向けた文書質問への取組が必要である。(H30=実2人、8項目 R元=実1人、5項目 R2=実1人、4項目)
2. 議会の 公開度	①委員会の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前の会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。(議場・ホームページ)
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実 (ライブ中継)	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮やかな映像配信を行っている。町民からの要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能(R元からライブも視聴可能)となった。 全道=77議会(議会中継実施)
3. 議会の 報告度	①議会だより・速報版 等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。 全道=単独発行124議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルした。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=131議会
4. 住 民 参加度	①各種団体との懇談会の開催 (常任委員会の活動)	△	△	△	▲	テーマと開催方法(住民主権等)を工夫した取組が必要である。R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い懇談会の開催を中止している。 (懇談会：H30=2回、R元=1回、R2=0回)

※「討論」とは、議会の本会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対の議員個々の意思を表明すること。

主 要 評 価 項 目	具体的な項目	過去3年間の評価			R2 評価	摘 要
		H29	H30	R 元		
4. 住 民 参 加 度	②町民と議員との懇談会の開催	○	○	○	○	R2も議員を3班に分け町内会単位で実施した。引き続き懇談内容の充実への取組みが必要である。 (R元=6日間・17会場101人、R2=6日間・17会場98人)全道=61議会
	③参画者への対応と参加度	○	○	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (R元=定例10人、平均2.5人 定例外7人、平均1.8人) (R2=定例9人、平均2.3人 定例外9人、平均1.3人) (全道平均=定例4.7人、定例外1.3人)
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会(定例)を開催している。 (参画者R元=4人、R2=3人)全道=夜間7議会、休日5議会
5. 議 会 の 民 主 度	①一般質問の一問一答方式	○	○	○	○	一問一答方式を実施している(H12)。質問回数と時間制限の規定を廃止している(H20)。全道=117議会(一問一答方式採用)
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している(H6)。全道=130議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み(H13.9)。質問に関する的確な(漏れや補足答弁を必要としない)通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
6. 議 会 の 監 視 度	①長との適正な関係の維持	○	○	○	○	福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定(H20)、前記条例の内容を拡充した福島町議会議員政治倫理条例を制定(H30)、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能(けん制・批判・監視等)の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点を洗い出し行政側に文書を手交し説明している。又、常任委員会で取りまとめた調査意見(報告書)を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。
7. 議 会 の 専 門 度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見(報告書)を行政側に手交し説明、意見交換している。[R2調査件数29件]
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 ・学校給食における地元食材活用 ・岩部クルーズ運航事業 ・福島町議会議員、福島町長選挙における選挙運動費用の公営負担 ・種苗生産施設等整備事業 ・アワビ陸上養殖事業の進捗状況と今後の見込み 等
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実につながっている。継続的に見直しを行っており現在の議決事件は13件となっている。(令和2年度は新たに追加・削除した議決事件はなし。)
8. 事 務 局 の 充 実 度	①議場・委員会室の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備(R元)、議場等音響設備(H28)の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。体制は正職員3人、会計年度任用職員1人で充実している。
9. 適 正 な 議 会 機 能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、平成30年度に見直している。 (当初標準額=3,184千円・H30見直し標準額=4,355千円、R2予算4,782千円)
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を期間とした「通年議会」を実施している。 議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定(議会参画条例・政治倫理条例等)
	④議会付属機関の設置	○	○	○	○	福島町議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。(資料提供、道内の町村議会へのリンク等)
10. 研 修 活 動 の 充 実 強 化	①研修の効率的な取組み	○	○	△	△	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告会を開催し情報共有を図っている。R2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う往来自粛もあり、政務活動費を活用した共同視察研修は実施できなかった。

議会評価に対する^{しもん}諮問会議意見

◎議会運営委員会による議会評価は適切である。

意見～町民の声を町政に届ける手段、また、町政の方向性を確認する手段として、一般質問と文書質問を積極的に活用した議員活動を望みます。